

# 感染症情報 4月6日～12日

府下小児科196医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	291例(堺市	18例)
②溶連菌感染症	163例(堺市	6例)
③突発性発疹	59例(堺市	4例)
④RSウイルス感染症	27例(堺市	0例)
⑤水痘	26例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点299医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 41例(堺市 5例)

が報告された。感染症報告数は前週比17.3%減の625件であった。新型コロナウイルスの影響で休校や休園が続いていることもあるが、咽頭や鼻汁検査がされなくなっていることも考慮する必要がある(見た目では診断できるものだけカウントされるようになる)。

感染性胃腸炎は府下で前週と比較して11%減、堺市では前週の38%増であった。溶連菌感染症は府下で29%減、堺市で15例→6例であった。RSウイルス感染症は府下で18%減、堺市で前週・今回とも0例であった。水痘が府下で21%減、堺市で4例→0例であった。

**指定感染症:** 大阪府下の新型コロナウイルス感染症は4月6日から12日までに384例増えて、累計805例となっていた。大阪府では1月26日から4月15日まで延べ8,481件を検査して968件陽性(単純陽性率11.4%)。4月8日から14日では、2,522件検査して413件陽性であった(単純陽性率は前週13.1%→今回16.4%に悪化)。

堺市では2月6日から4月15日までの542検査中、73例が陽性で(一部堺市以外の検査も含む。単純陽性率は13.5%)、直近の4月9日から4月15日に154検査中、38例が陽性であった(単純陽性率は前週15.4%→今回24.7%とかなり悪化している)。接触感染にも注意を。

麻疹や風疹の報告はなかった。